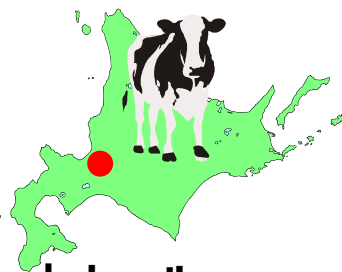


北海道酪農技術セミナー2026

2026年11月17日（火）～18日（水）

北海道札幌市白石区 札幌コンベンションセンター・大ホール



セミナーの趣旨：

酪農現場で活躍されている先生方から、現場で役立つ最新酪農技術を幅広く学ぶとともに、参加するさまざまな職種の人達と意見交換できることを目的とした北米タイプのセミナーです。酪農家、普及員、団体職員、獣医師、メーカー、販売会社、他、誰でも参加していただけます。

会場へのアクセス：

地下鉄東西線東札幌駅から徒歩8分。

参加費用、お支払方法：

セミナー参加費：一般＝¥8,000、学生＝無料（ただし、事前申し込み者のみ）。※参加費の支払方法は後日メールにて通知します。参加費には2日間の講習料、講演要旨が含まれますが、宿泊代は含みません。

参加申し込み：

右QRコードを読み取って、申込フォームに必要事項を入力し送信してください。FAXでの申し込みはできません。申し込みは9月1日～10月31日、定員になり次第、締め切らせていただきます。両日、有償で弁当を手配します（¥1000/個）。また、17日夜、展示会場にて簡単な懇親会を行います（会費¥3,000）。希望者は申し込みフォームでお申し込みください。懇親会も定員になり次第締め切らせていただきます。



企業協賛のお願い：

セミナー参加者の負担をできるだけ少なくするため、スポンサー企業を募集しています。

- 1) 広告掲載スポンサー（20ヵ所程度）：1ヵ所5万円で講演要旨にご希望の広告（A4縦上下1/2サイズ白黒）を掲載します。1名分の参加費、弁当代、懇親会費を無償とします。
 - 2) 展示ブース出展スポンサー（34ブース）：1ブース（1.8×1.8m、机1つと椅子2脚、バックパネル）：10万円で出展して頂きます。2名分の参加費、弁当代、懇親会費を無償とします。
 - 3) 協賛スポンサー：広告、出展などしない場合でも一口5万円で何口でも協賛していただけます。一口で1名様の参加費、弁当代、懇親会費を無償とさせていただきます。
 - 4) 物品提供スポンサー：ペン、ノート、袋、その他の物品など提供していただきます。協賛していただいたすべてのスポンサー様には講演要旨に会社名を掲載させていただきます。
- 展示ブース出展の申し込みは8月1日AM9：00からメールにて先着順で受付します。申し込みメールアドレス：raku-seminar@rakuno.ac.jp。申し込みは1メールで1ヵ所となります。時刻前の申し込み、複数メールでの申し込みは無効となりますのでご注意ください。他の協賛については事務局までご連絡ください。

セミナー、企業協賛に関するお問い合わせ、お申込みは、北海道酪農技術セミナー事務局、安富携帯：090-9755-3677、メール：yubetsuhms5@gmail.com または、酪農学園大学社会連携課：011-388-4131、メール：raku-seminar@rakuno.ac.jp まで。

北海道酪農技術セミナー2026 プログラム

11月17日(火)

プレ・セミナー・プレゼンテーション

- AM 9:30~10:40 暑さのメカニズムから暑熱対策を考える メルコエアテクノロジー株式会社
- AM 10:50~12:00 北米における種雄牛の遺伝的改良のトレンド 伊藤耕史郎 ST ジャパン
- PM 12:00~13:00 昼休み

北海道酪農技術セミナー2026

Session 1. 「繁殖管理関連」コーディネーター: 三浦亮太郎、酪農学園大学

- PM 1:20~2:20 「牛群検定成績だけで受胎率を予測する」 古山敬祐、大阪公立大学

Session 2. 「哺乳・育成」コーディネーター: 中村聡志 ノースベッツ

- PM 2:30~3:30 「(有)福澤農場の取り組みについて: 選ばれる素牛生産を目指してゲノミック評価を利用した雌子牛の保留を考える」 福澤嘉諭(有)福澤農場、上士幌町)
- PM 3:30~4:00 休憩

Session 3. 「自給粗飼料関連」コーディネーター: 齊藤潔 (北海道立農業大学校)

- PM 4:00~5:30 「自給粗飼料の生産強化に関するパネルディスカッション」
 - ①佐藤尚親(雪印種苗株式会社)、「気候変動等による自給粗飼料不足の対応と実際」
 - ②曾根保尚(十勝農業改良普及センター)、「チモシーの夏枯れにどう備えるか」
 - ③鈴木雅憲(カネコ種苗株式会社)、「近年の気候変動に対するデントコーンの安定栽培の戦略」
 - 総合討論
- PM 6:00~8:00 懇親会(企業展示会場にて)

11月18日(水)

Session 4. 「乳房炎関連」コーディネーター: 奥啓輔、トータルハードマネジメントサービス

- AM 9:30~10:30 「選択的乾乳期治療から考える抗菌薬の適正使用」 菊佳男、酪農学園大学

Session 5. 「酪農経営関連」コーディネーター: 安富一郎、ゆうべつ牛群管理サービス

- AM 10:40~11:40 「北海道農業の労働力不足と外国人労働者-酪農を中心に-」 宮入隆 北海学園大学
- AM 11:40~PM1:00 昼休み
- PM 0:30~1:00 ポスターセッション表彰式

Session 6. 「搾乳ロボット関連」コーディネーター: 佐竹直紀 デイリーコンサルティング ミライズ

- PM 1:00~3:00 「搾乳ロボットを組み込んだ酪農経営は私の農場にどのような変化をもたらしか」
 - パネリスト ①山下匡大、山下牧場(中標津)、②清水大樹、合同会社 中原牧場(群馬)、③鈴木健生・黒谷祥太、サンエイ牧場(大樹)
 - 総合討論

Session 7. 「育成関連」コーディネーター: 武中慎治、メイプルメイプルズクレストコンサルタント サービス

- PM 3:10~4:10 育成センターを取り組んでわかったこと -これだけ変わる育成牛- 林川和幸、根室農業改良普及センター

閉会